

やひこ 議会だより

182号

平成28年7月25日

弥彦村議会

〒959 0392 新潟県西蒲原郡弥彦村矢作
TEL (0256)94 3131(代)
TEL (0256)94 1028(直通)
FAX (0256)94 3216
<http://www.vill.yahiko.niigata.jp>
Eメール: gikai@vill.yahiko.niigata.jp



弥彦保育園七夕のつどい

6月定例会

国保税値上げ(総括質疑).....	P3~4
競輪外部監査(委員会).....	P5~7
相撲夏合宿(弥生さん).....	P8
観光・農業・人口対策(一般質問).....	P9~12
全国競輪議長会報告.....	P14~15

6月定例会

6月7日
～
17日

平成28年第4回6月定例会は、6月7日から17日まで11日間の会期で開かれました。

平成27年度一般会計及び特別会計補正予算、村税条例の改正など10案件の専決処分と、平成28年度一般会

計補正予算及び特別会計補正予算、村税条例の改正、監査委員の選任についてなど、村長から提出された計14案件を慎重に審議し、平成28年度競輪事業特別会計補正予算、個別外部監査契約に基づく監査によること及び個別外部監査契約の締結につい

ての3案件を否決、これ以外はいずれも原案どおり全会一致で可決、同意しました。
一般質問では、4人の議員が、観光、農業、人口対策、バイオマス発電など、村政に対する質問を行いました。

6月定例会で決まったこと

平成27年度補正予算 (専決処分)

一般会計
773万2000円を減額し、総額を4億1780万5000円とする。

歳入の主なもの

- ・ 固定資産税 600万円
- ・ 地方消費税交付 6090万円
- ・ 地方交付税 2262万円
- ・ 国庫補助金 802万円
- ・ 寄付金 454万円
- ・ 財政調整基金繰入金 8000万円

雑入 254万円
村債 1850万円

歳出の主なもの

- ・ 民生費 858万円
- ・ 社会福祉総務費 359万円
- ・ 保育園費 359万円
- ・ 商工費 599万円
- ・ 観光費 1094万円
- ・ 土木費 799万円
- ・ 道路新設改良費 5947万円
- ・ 諸支出金 799万円
- ・ 寄付金積立基金費 5947万円
- ・ 予備費 799万円

国民健康保険特別会計

1169万5000円を減額し
総額を9億5560万5000円とする。

後期高齢者医療特別会計

482万円を減額し、総額を6206万9000円とする。

介護保険特別会計

926万8000円を減額し、
総額を8億1474万8000円とする。

温泉事業特別会計

212万7000円を減額し、
総額を2585万5000円とする。

水道事業会計

収益的支出の予定額に、146万7000円を追加し、総額を2億1697万7000円とする。

条例の一部改正(専決処分)

村税条例
固定資産評価審査委員会条例
国民健康保険税条例



平成28年度補正予算

一般会計（第1号）	3027万2000円を追加し、総額を38億4027万2000円とする。	衛生費	111万円
歳入の主なもの		保健衛生総務費	111万円
・国庫補助金	1552万円	農林水産業費	
・県支出金	327万円	農地費	1230万円
・繰越金	973万円	商工費	
・雑入	129万円	観光費	130万円
歳出の主なもの		一般会計（第2号）	
・民生費		弥彦村議会議員補欠選挙執行のため、264万5000円を予算組み替えする。	
・社会福祉総務費	1120万円	国民健康保険特別会計	
		291万6000円を追加し、総額を9億6191万6000円とする。	

条例の一部改正

国民健康保険条例
印鑑の登録及び証明に関する条例
防災会議条例



特定健診

固定資産評価審査委員の選任

丸山 太田志さん（弥彦）
の再任に同意しました。

教育委員の任命

渡邊 一嘉さん（井田）
の再任に同意しました。

監査委員の選任

小田 茂達さん（新潟市）
安達 丈夫さん
（矢作・議会選出）
の選任に同意しました。

総括質疑

6月11日

一般会計補正予算

マイナンバー制度

柏木議員 社会保障番号制度システム委託料で今回を含め5回の補正予算が提出された、補正回数が異常に多くないか。総務課長 マイナンバー制度が始まって短期間でやらなくてはならず、国から決定通知があり、直近の議会で補正をお願いしているので補正回数が多くなった。

国保税値上げの状況は

田中議員 一人当たりの保険給付医療費は。
住民課長 27年度は23万320円で、7年前より6万7329円増えている。ジェネリック薬品の推奨と、健康診断の受診率向上で病気がリスクを抑え、医療費軽減に努めたい。
田中議員 昨年度に続いての国民健康保険税の値上げ、村

民の負担はどのくらいか。

税務課長 9・39%の値上げで、1300万円ほどの税額増を見込んでいる。
一例をあげれば、40歳代後半の、子供2人の4人世帯で収入額420万円の方で、税額2万8400円の負担増になる。
田中議員 来年度もまた値上げになるのか。
村長 医療費が増え続けている

競輪事業個別外部監査

現状では、残念ながら上がる確率が高い。村としては健康診断の受診率を上げるなど、健康づくりに取り組みたい。
田中議員 27年度は7000万円を一般会計へ繰り出している。外部監査をなぜ今、緊急にやらなければならないのか。



全国で唯一村営の弥彦競輪場

村長 競輪場の施設はかなり老朽化している。施設整備基金としては2億円程。基金へも積立てしなければならぬので、多額の繰り出しは望めない。少しでも継続的に繰り出しすれば、競輪事業は村に貢献することになる。そのため無駄を見直したい。

安達議員 1000万円という外部監査を予算化した経緯を伺う。
村長 効率的な運営に向けて無駄を省くために外部監査を実施する。
1000万円を上限として単年度ではなく、平成22年度から、27年度の6力年を予定している。
安達議員 競輪の中央3団体と監査について事前に相談のうえ計画されたのか。

小熊議員 住宅リフォーム助成金60万円減額、また、空き家住宅リフォーム助成金30万円の減額内容と空き家棟数は、建設企業課長 住宅リフォーム助成金は予算300万のところ、239万1000円の実績で60万円の減額。空き家住宅リフォーム助成金予算30万円のところ、実績0件で30万円の減額である。空き家棟数は162棟である。
赤川議員 住宅リフォーム助成は28件、239万円で60万

村長 全国競輪施行者協議会にはあらかじめ内諾を得ている。日本競輪選手会とJKAには正式に説明と依頼を行う予定。
競輪事業の目的は一般会計への支援なので、ゼロが続いていたら、何のためにやっているか、全く意味がない。
今の監査だけでは限界があるということ、専門家に依頼したい。
住宅リフォーム状況は

円の減額になっているが、もう少し助成件数を増やしてもよかったのではないかと。建設企業課長 1件当たり限度額が10万円であるが、平均で約9万円くらいであったので、残りがでたと思う。
^(注)インバウンドについて
板倉議員 村長の答弁で、外国語表記は弥彦村の雰囲気大切にしながら行うと受け取ったが、間違いないか。



外国語表記のない観光案内看板

村長 インバウンドについては対応を考えたが、具体的なことはこれからである。2020年東京オリンピック目指して対策したい。
板倉議員 観光費の中のインバウンド220万円の委託料減額は、観光商工課長 地方創生加速交付金の当初予算額が減額され、1080万円で行なう

(注) インバウンド = 外国人旅行者を日本へ誘致すること。

付託された補正予算2案件、条例改正2案件は全会一致で可決しました。

主な質疑事項

27年度補正予算

問 消火栓工事と消火栓ホース等の交換実績は。

答 消火栓工事は794万円。ホース格納箱に2分の1補助で約13万円である。

問 消火栓は、緊急性が高いと確認されたにもかかわらず改修されていない。その理由と本年度の箇所数は。

答 消防署の調査では、51基が改修対象となり、消防署で緊急度の優先順位をつけ役場と協議し改修している。4基分を計上している。

28年度補正予算

問 教育費の土曜日学習事業経費で、対象が5・6年生と中学1・2年生の希望者とのこと。その人数と講師は。

答 受講者は、小学校5年生が30人、6年生が55人、中学校1年生が31人、2年生が33人で合計149人。受講率46・7%である。
講師は元小・中学校の教員16名で交代で担当している。

問 消防費の災害応急資材費の内容と現在の状況は。

答 熊本地震被災地の熊本市へペットボトル2の水500本を支援物資として送った。村は5カ月分の備蓄がある。備蓄品の一覧表を作成し、消費期限を確認してる。

付託案件外

問 学力テストの結果を分析し、授業改善に活かしたいとのこと、具体的改善策は。

答 小・中学校とも、少人数クラスで基礎学力が身につくよう取り組んでいる。また、学び合いをテーマに意見を出し合い、お互いを深め合う取り組みをしている。

問 旧鈴木権宮司邸は、登録有形文化財のパネルが文化庁より届くとのこと。その枚数は。また、他の文化財もパネルを活用しては。

答 文化庁からは1枚である。他の文化財も、パネル等でPRしていきたい。

問 学校給食にアレルギーのある児童・生徒がいるとのこと。学校で「エビペン」を注射する指導をしているか。

答 中学校に対象者がいる。教職員が注射しなければならぬことが想定されるので、教員研修を実施している。

問 例規集は、ホームページで閲覧できるが、CDを議員に配布する必要がないのでは。

答 ホームページには要綱、規程等が記録されていないためCDを配付している。今後は細則等も入れ、利便性の高いものにした。

(注) エピペン

医師の治療を受けるまでの間、食物アレルギーなどのショックを防ぐための補助治療剤。
(アドレナリン自己注射薬)



文化庁登録有形文化財に指定された「旧鈴木権宮司邸」

付託された27年度補正予算6案件、28年度補正予算2案件、条例改正1案件は全会一致で承認可決しました。

主な質疑事項

27年度補正予算

問 臨時福祉給付金減額内容と該当者給付の対応は。

答 非課税世帯への給付金であり、扶養者の方の減額である。申請もれないよう広報等で周知した。

問 下水道加入世帯数は。未加入世帯への加入促進の対応は。

答 加入世帯数は、2394世帯、87.5%の加入率である。加入促進は現在行っていないが、浄化槽の世帯も含めて行っていきたい。

問 雪害対策費の除雪車運転免許講習料の内容は。また、講習者の人数と受講料の金額は。

答 受講者人数は4名。金額は46万7160円であり、金額村負担である。除雪に関する職員数は10名である。

問 子育て世帯臨時特例給付金13万2000円の減額内容は。

答 国への概算要求を多く見込んだため、減額となった。

問 27年度特定健診、半日ドックの受診者数は、前年度との増減はあるのか。受診の周知計画は。

答 特定健診、半日ドックの受診者数は718名である。前年度より減少している。個別訪問により周知している。

問 伊彌彦米のロゴデザインは素晴らしいと思う。ふるさと納税の返礼品で、お米の申し込みはあるのか。

答 4月は433件454万円、5月は132件246万5000円の申し込みがある。

28年度補正予算

問 ヤホール屋根修繕の内容は。

答 ヤホールの屋根のなだれ止めが壊れたため、保険金で修繕する。また、なだれ止めを1列増設する。

付託案件外

問 伊彌彦米のロゴデザインは素晴らしいと思う。ふるさと納税の返礼品で、お米の申し込みはあるのか。

答 関係団体と用途を協議し、協力してやっていきたい。

問 ヤホール東側トイレの表示は分かりにくく、利用者本位になっていない。

答 相撲の郷プロジェクト実行委員会の補助金300万円の使途内容は。



伊彌彦米ロゴデザイン

問 弥彦保育園、102名の内未満児32名、二松保育園120名の内未満児34名、ひかり保育園63名の内未満児22名である。

答 当初から軽減された保育料で納入していただいている。対象児童数は104名である。

問 3保育園の園児数は。

答 弥彦保育園、102名の内未満児32名、二松保育園120名の内未満児34名、ひかり保育園63名の内未満児22名である。

問 昨年の敬老会の参加人数は。今年の企画内容は。メロンと入浴券の配布はあるのか。

答 参加人数は約300名である。無料の催し物を計画。お祝いメロンは取りやめ、入浴券は有効期限を長くする予定である。

問 保育料の軽減は、子育てファンドから支出するとのことであったが、軽減方法と対象児童者数は。

答 当初から軽減された保育料で納入していただいている。対象児童数は104名である。

問 分かりやすい表示を考え、利用しやすくしたい。

答 保育料の軽減は、子育てファンドから支出するとのことであったが、軽減方法と対象児童者数は。

問 当初から軽減された保育料で納入していただいている。対象児童数は104名である。

問 3保育園の園児数は。

答 弥彦保育園、102名の内未満児32名、二松保育園120名の内未満児34名、ひかり保育園63名の内未満児22名である。

問 昨年の敬老会の参加人数は。今年の企画内容は。メロンと入浴券の配布はあるのか。

答 参加人数は約300名である。無料の催し物を計画。お祝いメロンは取りやめ、入浴券は有効期限を長くする予定である。

問 保育料の軽減は、子育てファンドから支出するとのことであったが、軽減方法と対象児童者数は。

答 当初から軽減された保育料で納入していただいている。対象児童数は104名である。

競輪特別委員会

個別外部監査関連3案件を否決

6月10日

付託された28年度補正予算、個別外部監査契約に基づく監査によることについて、及び個別外部監査契約の締結についての3案件は関連しており、いずれも賛成3名反対4名で否決となりました。

主な質疑事項

28年度補正予算

個別外部監査

問 個別外部監査を実施することについての成果はどのように考えているか。

答 第三者委員会を組織し、今回の監査の結果をその委員会へ報告・審議してもらい、その内容を受け取り判断することになる。

問 競輪の売上が落ちている

中、外部監査を実施したところで大きな期待は持てないのではないか。

答 従来の監査は、広く浅くの観点で実施しているが、今回依頼予定の公認会計士は、著名な企業の監査等で実績があり、競輪事業に絞って実施する。競輪事業を継続するために無駄を見直したい。弥彦村代表監査委員からも異議ない旨の意見を受けている。

問 当競輪特別委員や弥彦競輪関係者等、内部での精査が先ではないか。今までの監査等で問題が無かった中でいきなり外部へ依頼したとしても納得する成果が出ないのでは。

答 行政だけではできない内容を個別外部監査で実施してもらう。近年一般会計への繰り出し金がゼロの状態が続いているので、外部から無駄がないかを見てもらう。

問 これからの競輪事業をどのように運営していくか、一

般会計へどう繰り出していかかという取り組みの方が重要なのではないか。

答 収益を上げ、一般会計へ繰り出すためには、まず無駄の見直しが必要である。ただし、それだけでは活力が無くなるため、ミッドナイト競輪の開催や、寛仁親王牌の誘致を進めたい。

問 早急に外部へ監査依頼するのではなく、弥彦村監査委員も代わるので、新たな視点



開催を計画しているミッドナイト競輪

で時間をかけて調査してはどうか。

答 今回の外部監査は2カ月程度で終了する予定である。そこで無駄を見つければ監査経費の1000万円はすぐに取り戻すことができる。

問 外部監査に伴う第三者委員会の構成はどのようなものか。

答 長谷川新潟市前市長など5名程度に依頼する予定である。

討論

反対討論 1000万円という経費は大きい額である。経費を削減している中でこの額を捻出するのは大変ではないか。今この額をかけてまで実施することに對しては反対である。

賛成討論 競輪の将来的なことで、村のことを考えると、今調査してもらい1円でも一般会計へ繰り出しができるような仕組みをつくるべきであり、賛成である。

ミッドナイト競輪

問 ミッドナイト競輪実施に向けて地域住民への説明はどのようにするのか。

答 具体的にはこれからだが、地域住民への説明は必ず実施し、納得してもらうことが必要である。

付託案件外

担当所長から「平成27年度売上状況」、「平成28年度売上状況」、「開設66周年記念競輪」について説明がありました。

相撲夏合宿

弥生さん ギカイ君、知ってますか。日馬富士が弥彦に来るそうですね。

ギカイ君 はい。昨年の土俵開き以来ですね。予定していた夏合宿のために来るんですよ。

ギカイ君 朝稽古の様子は、神社の土俵で一般公開するんですよ。

弥生さん 昨年の土俵入りでは、整理券が必要でしたが、今年はどうなりますか。

こんにちは
弥生です

よ。

弥生さん とても楽しみですね。いつ来るのですか。

ギカイ君 8月26日から伊勢ヶ濱部屋一門が弥彦入りし、29日には関取も来ますよ。

弥生さん 合宿の様子は私たちも観れますか。

ギカイ君 隣の新テニスコート場では、盲導犬のチャリテイションで仮設舞台を作り、よさこい踊りと佐藤ひらりちゃんもコンサートをするんですよ。

弥生さん それは賑やかになりますね。ほかに何かあるのですか。

ギカイ君 隣の旧テニスコート場では、盲導犬のチャリテイションで仮設舞台を作り、よさこい踊りと佐藤ひらりちゃんもコンサートをするんですよ。

夜は、この場所とおもてなし広場で2万個の竹あかりが並べられます。

28日には24時間テレビ中継

28日には24時間テレビ中継

があるそうですね。

弥生さん 楽しみね。

ギカイ君 29日は日馬富士等

関取衆による餅まきをやるそうです。

弥生さん

何千人も集まるの

かしら？

ギカイ君 関取が弥彦で餅をまくなんて初めてですから、餅をまいたら弥彦にいっぱい人が集まるね。旧テニスコート前の道路は交通渋滞するね。

弥生さん とても心配です。

ギカイ君 そうだね。実行委員会・役場それに警察も神経を使うだろうね。

弥生さん これが成功したら間違いなく弥彦の観光イベントになるわね。

ギカイ君 旅館や商店の皆さんが、協賛で無料宿泊券や商品引き換え券を餅の中に入れてあるそうですね。

弥生さん 私も餅を拾いに行きたいですね。

ギカイ君 そうだね。これを契機に弥彦の旅館や商店が活気づくといいですね。

弥生さん 今からイベントが楽しみね。

弥生さん

今からイベントが

楽しみね。

楽しみね。



田中満男議員

低評価の観光地満足度

村長 = 関係者と行政で協力していきたい



平成22年まで5年連続開催された
弥彦山ヒルクライム

質問 弥彦の観光地としての評価は、残念ながら大変低い。宿泊施設及びそこでのおもてなし。そして食事、買い物（土産品）の評価が低い。リピーター率も県平均より低い。弥彦の顔・柱は観光だと思ふ。現状をどう認識し、どのように対処されるのか。

村長 観光・文化施設、イベント、祭りそして地域のおもてなしは、他地域より高い評価を受けている。弥彦神社や弥彦山の存在が大きいと考えられる。

満足度が低い項目は、食事、買い物（土産品）、宿泊施設が入っている。観光パンフレット、案内看板表示は行政で何とか解決できるが、それ以外は、行政の限界を超えている。町・村おこしが成功しているところは、自分たちで何

とかしようという行動を起こし、関係者と行政で協力していかないと難しい。ぜひその方向になるように。

質問 最近ヒルクライムレースなどの自転車による催しもの各地盛んである。弥彦は競輪場があり自転車で弥彦をアピールしては。

村長 5月の新潟県自転車競技連盟の総会で、ぜひ弥彦での自転車ロードレースの開催要望があった。近隣自治体と協力して、周回コースにして来年度より実施したい。

質問 岩室温泉は、首都圏からの高速バスを昼、夜の2往復運行。弥彦も便乗できないものか。

村長 県観光当局、旅行代理店と相談、検討したい。

木質バイオマス発電の見直し

質問 昨年度の調査で、資源量が大幅に不足しているという調査結果を、どう理解されているのか。

今年度は、100万円予算で調査予定だが、広範囲な地域を十分調査できるのか。終期はいつまでか。

副村長 弥彦村の木質バイオマス発電を取り巻く状況は、大変厳しいと考えている。木質バイオマス発電に関連した、間伐を初めとする費用、収益の見直しなどの調査

も必要と考える。財政との関わりも含め採算性、将来性を検討したい。地理情報システムを活用すればおおむね推計でき、費用は抑えられる。今年度中に方向性と結論を得られるように進めたい。

質問 水力・太陽光・風力・バイオマス等を含む再生可能エネルギーの認定済になつている事業34万件中、約30%が未稼働である。認定は受けたが採算性と将来性を加味すると事業化が困難だと聞く。

5月の参院本会議で、改正再生エネルギー特別措置法が可決、成立した。再生エネルギーを取り巻く環境は刻々と変化している。まだ先も読めない弥彦村の木質バイオマス発電は、もうこれ以上検討の余地はないのではないか。いつまでも先延ばしにせず、見切りをつける時期ではないのか。

副村長 自然エネルギーを活用した発電については、重要な検討課題であり続ける。森林管理の意味も含めて、十分調査検討の上、指摘を含め検討していきたい。

村長 まだあきらめるには早い。弥彦村に過大な財政負担をかける結果には絶対できないので、その辺は十分見極めたい。

弥彦村の人・農地プラン作成を早急に

村長 = 農地の集積、集約を積極的に推進したい



安達 丈夫 議員

質問 弥彦村では、麓二区生産組合、第四生産組合、サンファーム大戸、アグリさくら、上泉生産組合が農事組合法人で、大規模な組織として農業経営がなされているが、まだ半数近くの地域では個人農業経営で、近い将来に農業後継者確保や農業機械設備で不安を感じている方が少なくない。国、県、市町村では、リタイアするので農地を貸したい方、農業参入を考え農地を借りたい企業の方、利用権を交換して分散した農地をまとめ



大圃場整備を行った上泉地区水田

な説明会や指導を行うことが必要と思う。
弥彦村の稲作について、人・農地プランの作成と農地集積を今後どのような取り組みを行うか。
村長 人・農地プランとは、集落、地域での徹底的な話し合いのもとで、今後の地域農業の担い手となる経営体や将来の農地利用のあり方などを決める地域農業の未来設計図のようなものであり、プランの作成は、平成24年度から始めており、現在、上泉地区、大戸地区、

たい方、新規就農するので農地を借りたい方を対象として、スムーズな農地の貸し借りができるよう農地中間管理機構をつくりましたが、現状ではスムーズな体制が整っていないと思う。

人・農地プランの作成や農地集積も村で推進している。水田を耕作している農家だけでなく、農地所有者にも将来どのようにしていくか、どのような支援策があるかなど具体的な

平野・荻野地区の3地区で作成済み。また、鮎穴・楊枝瀧地区で今年度中に作成予定となっている。

今後は、プランの未作成地域は、さまざまな機会を捉え、プランの内容や農地中間管理事業、支援金制度の説明を行い、弥彦村全域でプランが作成されるよう努めるとともに、地域農業の担い手となる経営体への農地の集積、集約を積極的に推進したいと考えている。

各農家組合を含めた関係機関と緊密に連携を図り進めたい。今後の課題として、地域農業の担い手となる経営体が将来に向けた経営展望を持てるよう、農地の集積等に取り組むことが必要と思う。

地域農業の担い手となる経営体を確保し、その経営体が農地をしっかりと利用、管理し、美しい弥彦村の農村景観を維持していくことで、農業、農村の振興につながるものと確信している。



柏木文男議員

平成27年国勢調査結果と人口対策を

村長 = 5年間で人口370人減少



人口増につながるか・・・村営住宅建設

質問 平成27年国勢調査は、人口1億200万47人で5年前から94万7305人減である。弥彦村は、8213人で、370人減、減少率4・7%で県平均値より高い。今までの村の人口増加は、子育てに対する保育料が近隣町村より安く、乳児保育も他町村より早く、障害児保育の受け入れ等あり、安心して転入できる子育ての環境が整い出来たものと思う。美山・川崎の民間企業の宅地造成もあり、早くから下水道整備を推進し環境整備も整い順調に団地が形成された。

民間事業者による住宅団地造成

村営住宅団地造成、村営住宅建設等官民挙げての投資が大きいと思う。役場周辺の団地開発が最後で、以後は人口減少が進んでいる。

地方交付税は自治体の財政状況により交付され、今年弥彦村の地方交付税は12億7500万円である。村の国勢調査も五年間で370人の減少で、地方交付税の基礎となる人口減少が村の交付税に影響が出る。予算の中で大きな割合を占める来年度の地方交付税の見通しは。

村長 ご指摘のとおり370人の減少である。平成27年国勢調査の基礎数値を用いることで当初予算は4000万円少ない金額を計上した。

年末に示される地方財政計画の動向を踏まえる必要がある。人口減少は交付額の減額要素となり得る。引き続き慎重に財政運営に当る。

質問 昭和53年弥彦の団地から平成5年の矢作第3団地の7カ所の村営住宅を建設して、人口増加に貢献した。

23年間村営住宅を建設していない。村営住宅を建設して他市町村の若い人から転入してもらい人口

増加を図ってはどうか。

村長 16年間で7団地、14棟、41戸の村営住宅建設をした。4月1日現在37世帯101名の方が入居している。

人口減少に歯止めをかけるには、若い世代の転入を考えた場合、集合住宅の建設も必要と感じている。既存の村営住宅の建て替えも含め、維持管理が優先課題と考えている。財政状況も踏まえ今後の課題である。

質問 村の奨学金を受給している学生が県外の高校・大学を卒業し就職した人で、30歳未満の人が弥彦村にUターンをして村に住所を定めた人を対象に奨学金返済軽減ができないか。

村長 県でUターン促進のため奨学金の返済に対して助成金の交付する制度を今年度から始めた。

ご提案いただいた奨学金の返済軽減については今後どれくらいの財政負担が生じるか、返済減免制度を検討するにあたり県、日本学生支援機構の奨学金を利用している方もおり、両奨学金受給者との関係にも留意する必要がある。

これからの弥彦観光をどう創るか

村長 = おもてなし広場の ランドデザインに沿って進めたい



板倉 恵一 議員

質問 寺泊・分水・弥彦の名所と言われる箇所を巡って感じたことは、他の市町村の名所旧跡には、近くにいわれや伝説等大きな看板、現在の地図がある。弥彦の婆杉、蛸けやきは、県の天然記念物に指定されているが、案内看板は無い等しい。

弥彦山系は、昔から植物の宝庫であり、また、歴史においても弥彦神社を初めとして、黒滝城、桔梗ヶ丘城と多くの史跡、墓石に恵まれ、観光コースとなる箇所が多



新潟県天然記念物「蛸欒(たこけやき)」

質問 寺泊・分水・弥彦の名所と言われる箇所を巡って感じたことは、他の市町村の名所旧跡には、近くにいわれや伝説等大きな看板、現在の地図がある。弥彦の婆杉、蛸けやきは、県の天然記念物に指定されているが、案内看板は無い等しい。

弥彦山系は、昔から植物の宝庫であり、また、歴史においても弥彦神社を初めとして、黒滝城、桔梗ヶ丘城と多くの史跡、墓石に恵まれ、観光コースとなる箇所が多

これらを活かした良い観光コースが出来ると思う。

今年8月には、伊勢ヶ濱部屋夏合宿が始まる。合宿を弥彦観光の一部にするため、絶対成功させたいイベントである。

併せてモンゴルフェア、竹あかりも同時開催と聞くが、一過性でなく息の長い催し物にしてほしい。現在の合宿の進捗状況は。

村長 おもてなし広場のランドデザインが決まった。今後は、それに基づいた実施設計になる。その中で農産物販売者の意見を反映させられるように、公募も合わせ進めたい。

伊勢ヶ濱部屋の夏合宿の日程は、8月26日から9月1日までの1週間。前半は若手力士、29日から横綱等関取が参加する。当初は、越後の国やひこ相撲の郷プロジェクト実行委員会で夏合宿の計画をしていたが、その後青少年の健全育成と地域振興を図るため、社と社とこい越後が設立された。協議の結果、主催を社とすこい越後とし、彌彦神社、弥彦村は全面的に協力し後援していくことになった。

質問 合宿については、社とすこい越後が主催となるが、成功す

質問 寺泊・分水・弥彦の名所と言われる箇所を巡って感じたことは、他の市町村の名所旧跡には、近くにいわれや伝説等大きな看板、現在の地図がある。弥彦の婆杉、蛸けやきは、県の天然記念物に指定されているが、案内看板は無い等しい。

弥彦山系は、昔から植物の宝庫であり、また、歴史においても弥彦神社を初めとして、黒滝城、桔梗ヶ丘城と多くの史跡、墓石に恵まれ、観光コースとなる箇所が多

るためには弥彦村は一つになって取り組まなければならないのではないか。

村長 300万円の予算を有効に活用して、一緒になって取り組みたい。

質問 外国人観光客に対して、外国語の案内表記が無い。弥彦の風情を出すためにあえて外国語表記をしないのか。

村長 決めてはいないが、基本的には看板に表記が無くても分るよう工夫したい。

質問 先日議員研修の際、京都の観光案内を見てきたが、角々にはほとんど現在地・目的地まで何分で行けるかわかる表示板になっていた。目線がお客様本位であり、村も考えて欲しい。

国の育児・介護休業法が改正され、2017年1月から施行されることを広報等で分りやすく周知できないか。

村長 ただ載せるだけでなく重要なものは村民の皆さんから読んでもらえるように工夫したい。

おもてなし広場ランドデザイン



6月定例会議決結果

※承認を除く

提出者	議案	板倉 恵一	田中 満男	柏木 文男	安達 丈夫	本多 隆峰	小熊 正	赤川 幸子	採決結果
村長	平成28年度一般会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	可決
	平成28年度一般会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	可決
	平成28年度国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	可決
	平成28年度競輪事業特別会計補正予算（第1号）	○	×	○	×	×	×	×	否決
	国民健康保険税条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	可決
	印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	可決
	防災会議条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	可決
	固定資産評価審査委員の選任	○	○	○	○	○	○	○	可決
	教育委員の任命	○	○	○	○	○	○	○	可決
	監査委員の選任	○	○	○	○	○	○	○	可決
	個別外部監査契約に基づく監査によることについて	○	×	○	×	×	×	×	否決
	個別外部監査契約の締結について	○	×	○	×	×	×	×	否決

全国競輪主催地議長会定期総会報告

6月3日、都市センターホテル（東京都）で「第118回全国競輪主催地議長会定期総会」が開催され、最近の競輪事業の状況について、公益社団法人全国競輪施行者協議会の武島理事長から報告がありましたので、ご紹介します。

抜粋

競輪の売上は、2兆円近くまであった平成3年度をピークに25年度まで22年間連続で下がり、現在は当時の3分の1以下となっている。50場あった競輪場も赤字撤退により現在は43場となった。しかし、26年度に売上がようやく下げ止まり、27年度も前年度を上回る結果となった。その要因として、競輪業界一丸となった競輪のイメージアップ、活性化、売上向上策等の取

り組みが功を奏したものと考えている。特にミッドナイト競輪は、開催日数が増え売上向上に大きく貢献している。

27年度の開催日数は、赤字開催のF を減らしたことにより、前年度より112日少なくなった。開催日数が減ったにもかかわらず売上が伸びている。

これは当然収益面でも良い結果となって表れ、赤字施行者はほぼなくなり、一方で、一般会計への繰出金と繰出施行者も増えている傾向にある。

しかしながら、競輪業界はまだまだ厳しい状況にあるので、全国の競輪施行者とともに競輪事業の活性化、収益の向上に努力していきたい。

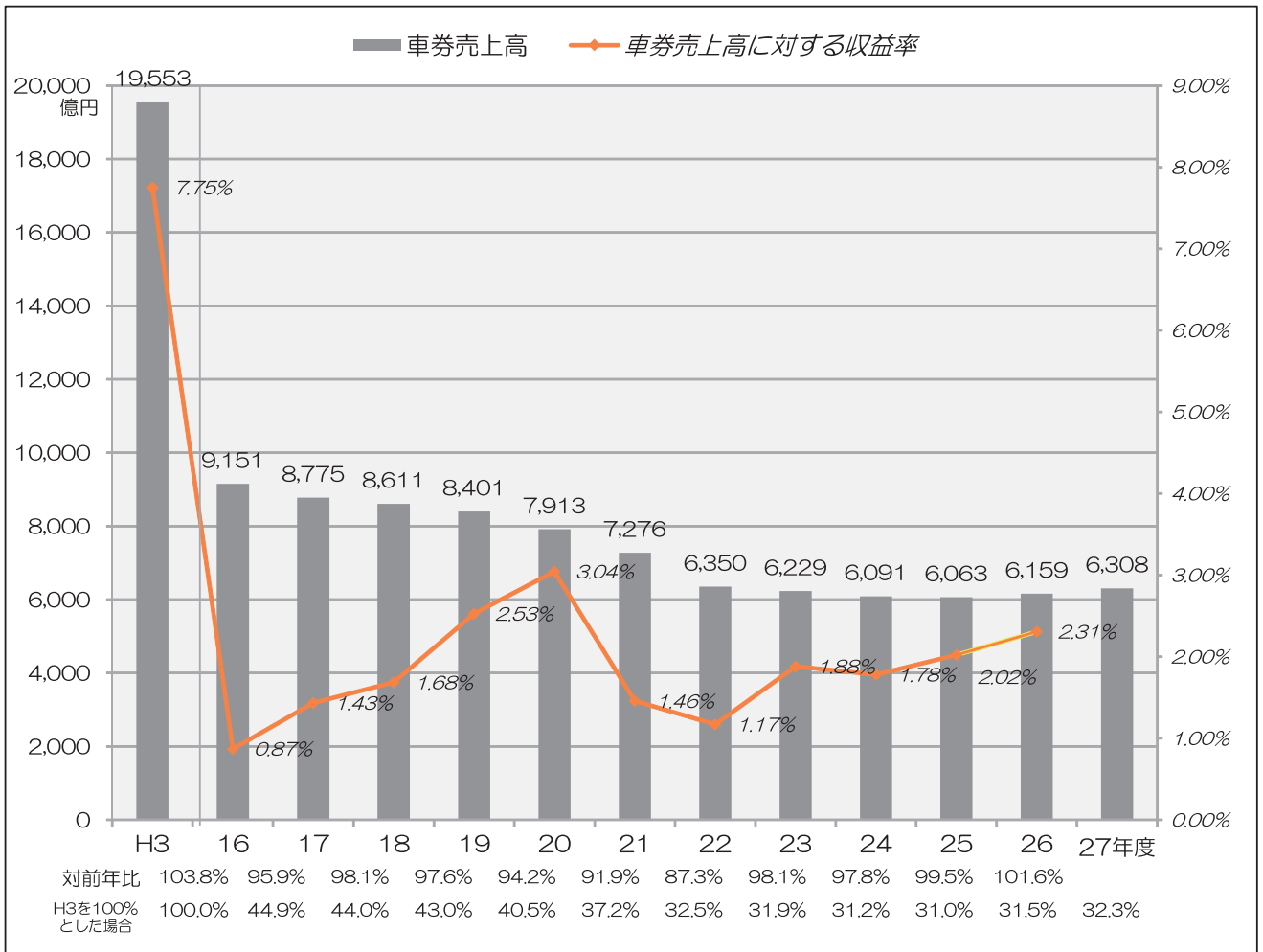
（資料提供：公益社団法人全国競輪施行者協議会）



弥彦競輪 開設66周年記念
ふるさとカップ

全国車券売上高状況

●車券売上高の推移



全国施行者収支等の状況

施行者収支等の推移

(単位：億円)

年度	開催収支	営業活動収支	赤字施行者数	一般会計繰出金	繰出施行者数
H26年度	41	142	1施行者/45	47	32施行者/45
H25年度	19	123	4施行者/46	40	31施行者/46
H24年度	9	108	8施行者/46	36	28施行者/46
H23年度	▲41	117	7施行者/47	32	26施行者/47
H22年度	▲96	74	15施行者/48	41	26施行者/48

●一般会計繰出金状況 (H26年度・45施行者中)

繰出金額	施行者数	割合
3億円以上	5	11.1%
1億円以上3億円未満	16	35.6%
1億円未満	11	24.4%
繰出金なし	13	28.9%

弥彦競輪の状況

今年で開設 66周年を迎える弥彦競輪は、全国の競輪場と同様に平成10年度をピークに売上が下がり続け、特別競輪（ふるさとダービー）の開催のあった年は、売上、収益は伸びたが、そうでない年は売上、収益が下がる（赤字）という不安定な経営状況が続いていた。

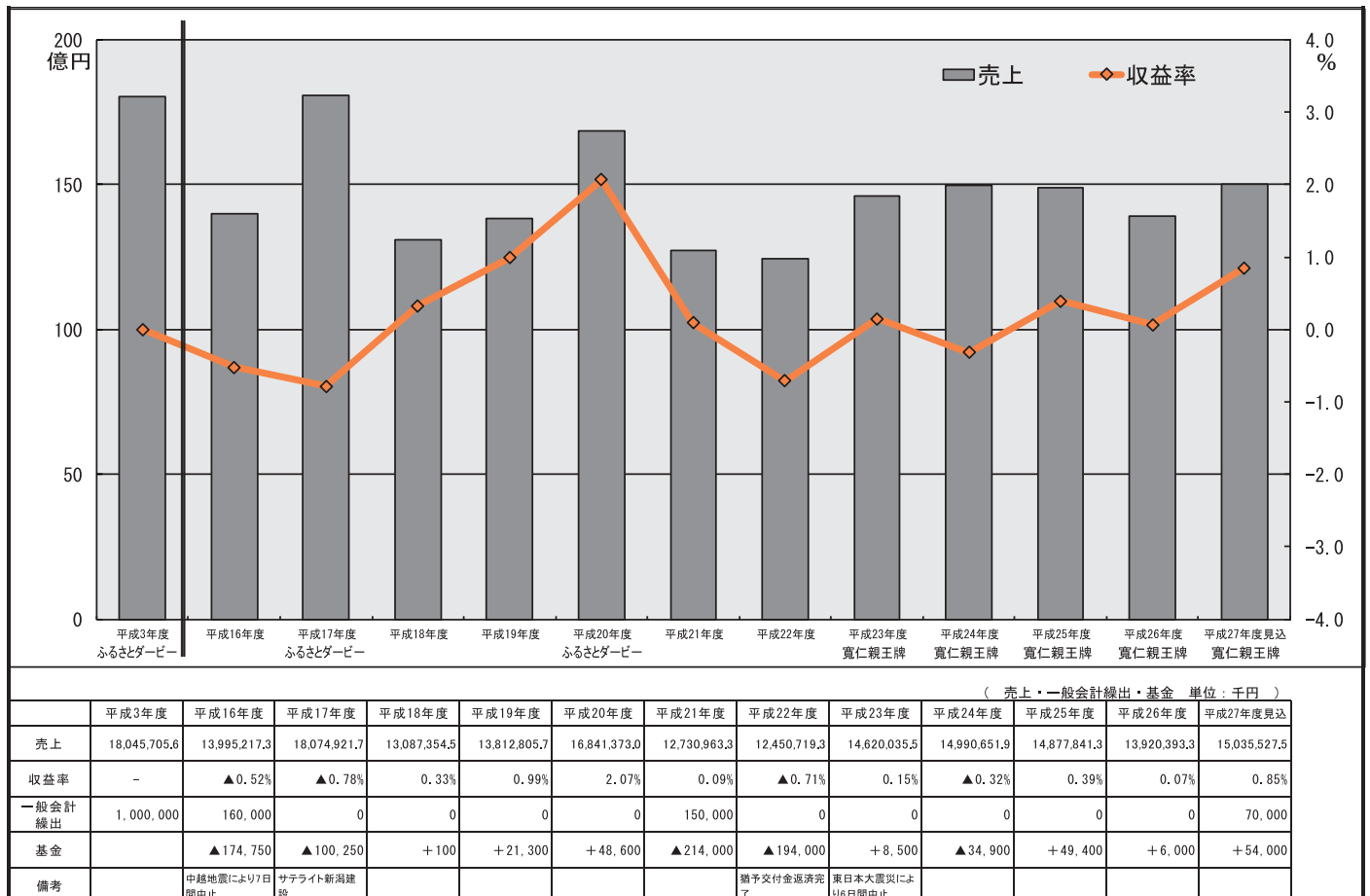
そのような厳しい状況を打開するため、15年12月に競輪界で初の競輪事業収支改善計画（注）を策定。この計画に基づき17年12月に弥彦競輪場の村有化に成功し、新たにJK A 猶予交付金の返済と施設維持管理費が発生したものの収支は安定した。

23年度には寛仁親王牌（G）の誘致に成功。その後27年度まで5年連続開催し、現在に至っている。（28年度はG 開催）弥彦村議会としては、歴史ある全国唯一の村営弥彦競輪の存続、活性化を図るため今後とも応援していきます。

（注）競輪事業収支改善計画

JK A（当時は日本自転車振興会）交付金の支払いを16年度と17年度合わせて7億円を猶予してもらい、これを原資に弥彦村がサテライト新潟を建設し、弥彦競輪場の施設会社に無償譲渡。代わりに施設会社は弥彦村へ弥彦競輪場を負担寄付。猶予交付金7億円は、22年度に全額返済済み。（資料提供：弥彦村公営競技事務所）

弥彦競輪本場開催 売上と収益率の推移



町村議会広報研修会報告

5月25日、新潟県自治会館で「第37回町村議会広報研修会」が開催されました。

この研修会では、弥彦村と県内4町村の発行する議会だよりがクリニックされ、レイアウトや用語の使い方、文章等が細かくチェックされました。

指導を受けたことを議会報編集に活かし、内容の充実した読みやすい議会報づくりに努めてまいります。

(議会報編集委員会)



事例発表する本多広報委員長

補欠選挙当選議員紹介



弥彦村議会議員

花井 温郎

村長選の代理戦の様相の村議補欠選。終わってみればやはり「改革の旗は降ろさない。降ろす位なら村長をやっている価値はない」村長、「今からキックオフと思っている。粉骨砕身ゴール目指してがんばりたい」反村長派後援会、何かが始まるのかとも。「是は是、非は非」共に弥彦村を良くする為にまずは補選を村政正常化へと見直すきっかけとしたい。



弥彦村議会議員

本多 啓三

議会人としての抱負

若手が立ち上がった。正しい彌彦を考る会の推薦を受け出馬。選挙戦では、取り戻そう・村民主体の村政を基軸に、議会の権威を取り戻し未来ある青少年育成に力を注ぐことを強調してまいりました。議会では討論・審議を重ね結果は自らの意志で判断する。これが議員の本分であり、村民の視線で議会人として発信してまいります。

あとがき

7月10日、参議院議員選挙と同日に弥彦村で初めての村議補欠選挙が行われた。このたびの選挙から18歳以上の方も投票できることになり、どのような結果になるか注目していた。

村議補欠選挙での18歳、19歳の有権者数は、148人で投票者数106人、投票率は71・62%であった。全体の投票率77・40%に比べるとやや低い数字となったが、村民にとって最も身近な選挙だけに若い人たちの関心の高さがうかがえる。

補欠選挙では2名定員の内、4名の立候補があり、各候補者とも必死の戦いぶりでありました。

弥彦村議会の最年少議員は62歳である。次の選挙では、若い方々が自ら立候補して、未来の弥彦村を担ってほしい。

(H)

発行責任者 武石雅之

編集委員会

本多隆峰 柏木文男

田中満男 板倉恵一

印刷所 弥彦村 イナバ印刷